

ガスのある暮らしに安心 警報器



## ガスもれ事故防止のための手引き

ガスもれ

CO  
(一酸化炭素)

ガス警報器の交換期限は**5年**です。

ガス警報器で事故を未然に防ぎましょう!

**ガス警報器設置・交換運動 実施中**

主催：一般社団法人全国LPガス協会 高圧ガス保安協会 ガス警報器工業会

後援：経済産業省 総務省消防庁 主婦連合会 全国女性団体連絡協議会 LPガス安全委員会

# ガスご使用上の注意

## 1 点火は必ず 目で確認してから!

点火したつもりでもついていないことがあります。  
炎を確認してください。



## 2 換気には 充分気をつけてください!

ガス使用中は換気扇をまわすなど、必ず換気してください。  
ガスストーブ使用中は、ときどき窓を開けて換気しましょう。



## 3 調理中(ガスコンロを使用中)は コンロから離れないで。

コンロから離れる時は、火を消しましょう。



## 4 ゴム管はときどき点検、 2~3年を目安に 取り替えましょう!



▲ゴム管からのガスもれ点検は、  
石鹼水を塗って泡が出ないことで確認できます。

固くなっているものやひび割れ、  
全体に白っぽくなっているものは、必ず交換してください。

# これだけは守っていただきたい、

5 ガスは**青い炎**の状態で使いましょう!

赤っぽい炎は、不完全燃焼してCOが発生していることが多い危険です。ガス会社に連絡して点検を受けてください。

▲正常      ▲危険な状態



6 外出・就寝時には、ガス栓及び器具栓をしっかりと**閉め**ましょう!

ガスご使用後は器具栓を閉め、口火の消火も確認しましょう。



ガス栓  
よーし!!  
器具栓

新しいガス器具を購入使用する時は、  
ガスの種類に適合しているか、  
確認してください。

燃焼器具名  
**LPガス用**  
型式

ガス消費量  
製造会社名  
製造年月

製造会社の銘板

★都市ガス用の器具は  
LPガスには使えません!!  
事故のもとです。

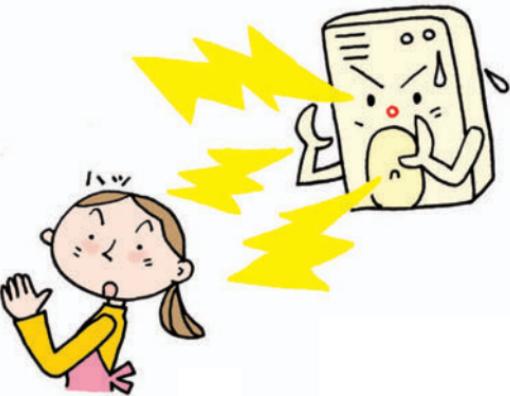
●新しくガス器具を設置するときは、ガス会社にご相談ください。

# ガス警報器の設置をおすすめします

ガス警報器は、うっかりミスなどによるガスもれを  
すばやく感知して、ブザーや音声で知らせます。

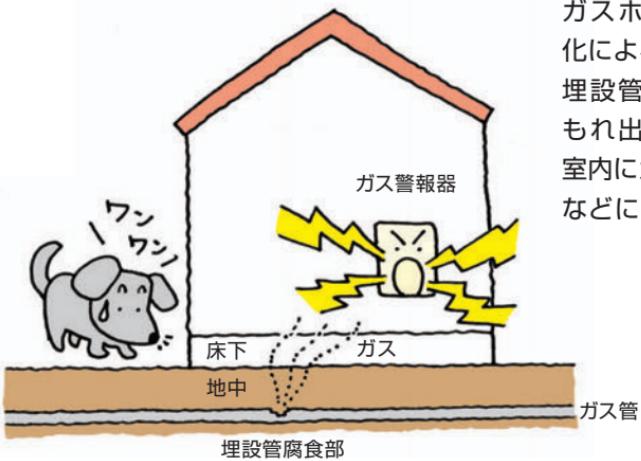
ガスもれ事故の多くは  
「点火したつもり」「閉  
めたつもり」「誤って未  
使用のガス栓を開けた」  
などのうっかりミスに  
によるものです。

ガスもれ事故を防ぐた  
めに警報器の設置をお  
すすめします。



器具の老朽化や埋設管の腐食による  
ガスもれを知らせます。

## 埋設管の腐食



ガスホースや器具の老朽化によるガスもれや、地中埋設管の腐食等でガスがもれ出し建物の床下から室内にガスが侵入した場合などにお知らせします。

す。

## ガス警報器ご使用上の注意

警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう

電源プラグが抜かれていたため、ガスもれが感知されず、発見が遅れたり、事故が拡大したケースがあります。電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。



警報器のまわりにものを置かないようにしましょう

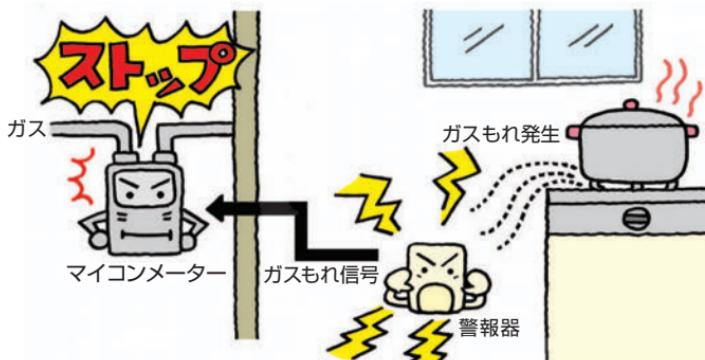
警報器のまわりにものを置いていると、ガスもれを感知しにくくなります。警報器のまわりにものを置かないようにしましょう。



(水が掛からないよう注意もしましょう)

## 安全をより高めるガス警報器とマイコンメーターの連動

ガスもれをブザーや音声で知らせ、マイコンメーターに信号を送りガスを自動的に止めます。



ガスもれ事故防止のために!!

# CO(一酸化炭素)警報器の設置を

CO警報器は、不完全燃焼などで発生したCOを感知して、ブザーや音声で知らせます。

ガスが燃焼するには、たくさんの空気が必要です。部屋を閉め切ってガス器具を使用すると酸素が不足して不完全燃焼が起こり、CO(一酸化炭素)が発生して大変危険です。ガスを使用するときは、必ず換気してください。



## 事故例

### 排気筒の腐食によるCO中毒事故

午前4時頃、マンションで一酸化炭素中毒事故が発生、1階3名、3階5名及び4階1名の計9名が軽症を負った。警察・消防による検証の結果、事故原因は1階消費者宅の天井部分の排気筒が元の形をとどめないほど腐食しており、給湯器から発生したCOが排気筒からもれ、1階天井裏に充満し、建物内部を伝わり2~4階の居室に流入したものと推定された。

#### CO ワンポイント メモ

COは、無色無臭で発生に気付きにくい。少量でも吸い込むと手足がしびれて動けなくなり、重症になると死亡することがある毒性の強い気体です。

# CO(一酸化炭素)中毒事故防止のために!!

# おすすめします。

## CO中毒事故を防止するための注意事項

1

### こまめに換気をする

室内でガスを使用するときは、時々換気をしましょう。



2

### 小型瞬間湯沸器は正しく使う

ホースなどで延長して洗濯機やお風呂への給湯、シャワーとして使用することは絶対にしないでください。



禁止



3

### 風呂釜と換気扇の同時使用に注意!

自然排気式の風呂釜と台所の換気扇を同時に使用すると、浴室内の気圧が低くなり、風呂釜の排気ガスが逆流してCO中毒事故を起こすことがあります。



4

### 排気筒や燃焼器具をチェックする。

排気筒がズレたり、腐食して穴があいていないか、鳥の巣などの異物が詰まっていないかをチェック。燃焼器具は、青い炎で燃えていることを確認しましょう。



# ガス警報器が鳴つたら!

## 絶対にしてはいけないこと

- 電気のコンセントやスイッチに触ること

※換気扇をつけることも危険です



スイッチには  
絶対に  
さわらない



- 室内の火は全て消してください。



- ガス栓、器具栓を閉めてください。



- ドアや窓を開けて充分に換気をしてください。



ガス会社に連絡し、点検が終わるまでガスを使わないでください。

## 火災のときは

- まず避難。
- 余裕があれば、初期消火をしましょう。
- 容器バルブを閉めてください。  
※都市ガスをご使用のご家庭は、ガスマートバルブを閉めてください。  
(バルブの操作方法は8ページ下をご確認ください)
- ガス会社にも連絡してください。

## 地震のときは

- まず身の安全を優先!
- ゆれがおさまった後で器具栓、ガス栓を閉めてください。安全が確認できるまではガスのご使用はお止めください。

# CO警報器が鳴ったら!

## 絶対にしてはいけないこと

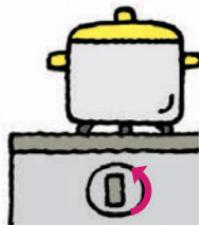
- CO警報器が鳴っている部屋に、いきなり入ること。

※部屋のCO濃度が高い場合、CO中毒になる危険性があります。



- ドアや窓を開けて充分に換気をしてください。換気を行った後、CO警報器が鳴っている間は部屋から退出してください。

- ガス栓、器具栓を閉めてください。



- ガス会社に連絡し、ガス器具の点検をしてもらいましょう。点検が終わるまでガスを使わないでください。



## ガスマーターバルブ・容器バルブの閉め方



ガスマーターバルブ



閉める



容器バルブ

- 開けるときは、ガス会社の点検を受けるなど、安全を確認してください。

# ガス警報器及びCO警報器の 交換期限は**5**年です!

交換期限がきたらすぐに交換してください!

警報器に貼ってある  
「交換期限表示ラベル」を  
確かめてください。



交換期限が近づいたら、  
ガス会社に連絡して必ず取り替えてください。

交換期限の年

2026年

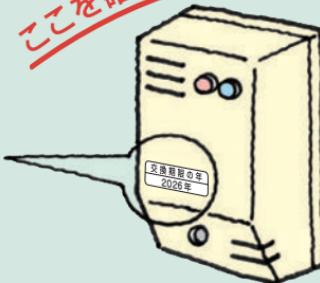
▲LPガスの場合

ここを確認!

交換期限

2026年4月

▲都市ガスの場合



ラベルの形状、大きさ、色はメーカーにより異なります。

注意：交換期限が過ぎたものは、正しく作動しない場合があります。

# ガス警報器故障かな? と思ったら

こんなときは

ここを確認して

処置してください。

電源ランプが  
消灯している

電源プラグが  
抜けている

電源プラグを  
差し込んでください

電源プラグは  
差し込んでいる

ブレーカーが落ちて  
いたり、停電でなけ  
れば警報器の故障が  
考えられます

電源ランプが  
点滅している  
(警報音はしない)

電源を入れた直後

点滅が止まり、  
点灯しますので  
暫くお待ちください

故障を知らせています

お求めの販売店に  
連絡してください

交換期限(5年)が  
過ぎていませんか

ガスを使用して  
いないのに警報する

近くで殺虫剤など  
スプレーを使用した

噴霧剤にガスが使用  
されています。ドアや  
窓を開けて換気して  
ください。このとき、  
コンセントは抜かない  
でください。

警報器に  
水が掛かった

コンセントを抜いて、  
お求めの販売店に  
連絡してください

たびたび警報する

調理にお酒、  
アルコール類を  
たくさん使用した

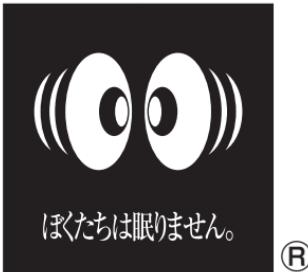
ドアや窓を開けて  
換気してください

ガス器具、  
ガスホースなどの  
異常が考えられます

ガス器具などの点検  
を受けてください

この表を確認しても解決しない場合や、表に該当しない異常の場合はガス会社  
に連絡してください。

# ガス警報器



安心をもっと確かに

お問い合わせは

ガス警報器工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-4 アーバン虎ノ門ビル4F

TEL.03-5157-4777 FAX.03-3597-2717

URL:<http://www.gkk.gr.jp>